

2022年卒
Vol.05

3月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活2022 学生モニター調査結果 (2021年3月発行)

2022年卒の採用広報が3月1日に解禁され、多くの学生が就職活動を本格的にスタートさせた。コロナ下の就職戦線も2年目となるが、収束の見通しが立たない中で、どのようなスタートを切っただろうか。キャリアス就活・学生モニターを対象に、解禁直後の就職活動状況や意識について調査を行った。

1. 3月1日時点の内定状況

- 内定率は21.1%。前年同期実績(15.9%)を5.2ポイント上回る
- 内定企業の7割強(74.7%)が「インターンシップ参加企業」。前年(69.3%)より増加

2. エントリー状況

- 一人あたりのエントリー社数の平均は23.3社。前年調査(21.6社)より1.7社増加

3. 就職活動解禁を迎えた心境

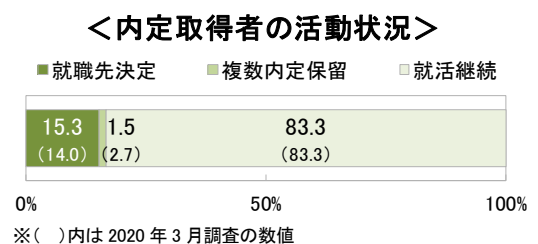
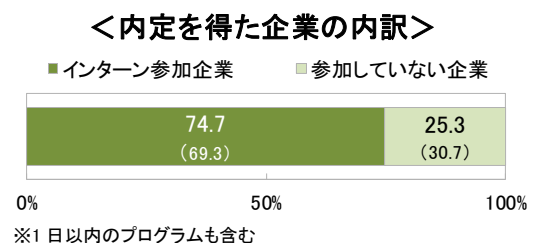
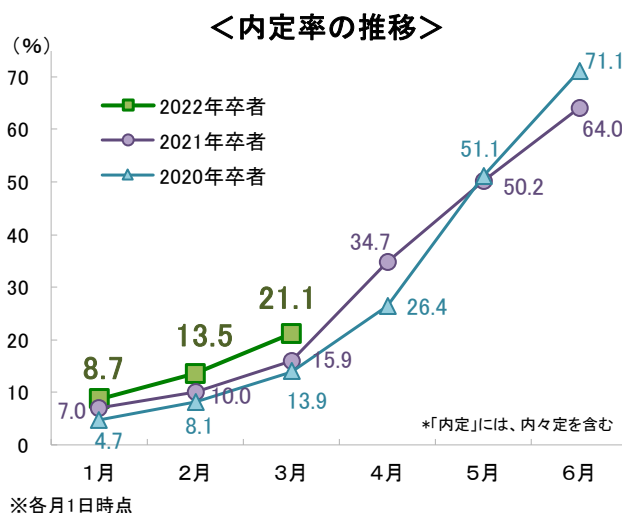
- 「いよいよ本格的に始まった」が約6割(58.5%)。「いまさらという感じ」は36.9%

1. 3月1日時点の内定状況

3月1日の就活解禁時点で、すでに内定を手にしてという学生は全体の21.1%に上った。前回調査(13.5%、2月調査)からの1カ月間に7.6ポイント上昇し、前年同期実績(15.9%)を5.2ポイント上回った。現在の日程ルールは6年目を迎えるが、3月の内定率が2割を超えるのは初めて。

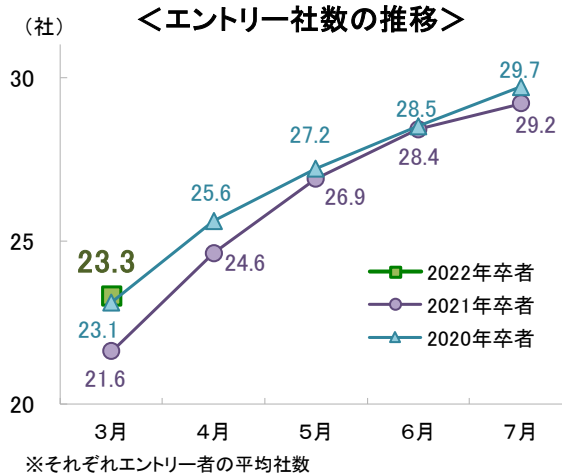
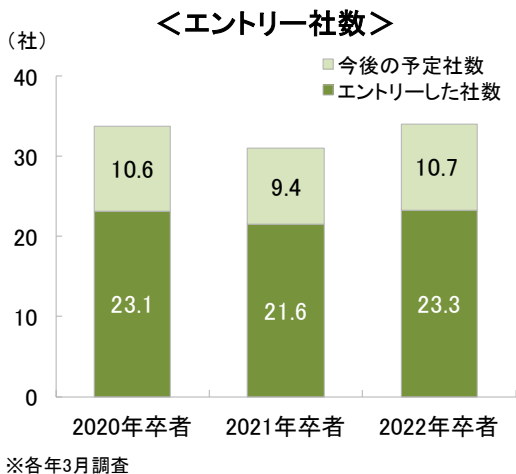
内定企業の7割強(74.7%)がインターンシップ^(※)に参加した企業で、前年調査(69.3%)を上回る。インターンシップから早期選考、早期内定につながるケースが増えた。(※1日以内のプログラムも含めて調査)

内定取得学生のうち、就職先を決めて就職活動を終了したのは15.3%で、大半は内定を得ても就職活動を継続していると回答。モニター学生全体を分母にとると、就活終了者(就職先決定)は3%程度。



2. エントリー状況

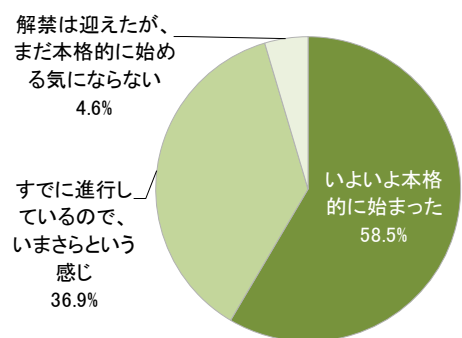
一人あたりのエントリー社数の平均は 23.3 社で、前年同期実績 (21.6 社) を 1.7 社上回った。今後のエントリー予定社数は平均 10.7 社で、前年調査 (9.4 社) より約 1 社多い。これまで売り手市場を背景に、一人あたりのエントリー社数は減少傾向にあったが、コロナ禍で増加に転じた。



3. 就職活動解禁を迎えた心境

3月1日の「解禁日」を迎えた心境を尋ねた。自分の気持ちに近いものを選んでもらうと、「いよいよ本格的に始まった」と回答した人が最も多く、約6割に上る (58.5%)。多くの学生が、解禁日として意識していることがわかる。一方で、「いまさらという感じ」は 36.9%。すでに内定を得たり、複数企業の本選考を受けたりするなど、進行の早い学生を中心に選択された。早くから取り組んできた学生の中には疲れも見え始めた。

<就職活動解禁を迎えた現在の気持ち>



■学生の声

- ようやく第一志望の企業のエントリーシートを完成させて提出したため、いよいよ本番が始まるんだと感じている。 <理系男子>
- 気が付いたらもう3月になっていて、まだ自己分析や面接対策がしっかりできていない中でどんどん本格化していくことに焦りと不安を感じます。 <文系女子>
- 3/1に「解禁」となったが、私も含め既に疲れてしまったという学生が周囲にたくさんいる。 <文系女子>
- コロナ禍で対面で会うことがまったくできず、これから自分が何をするのかイメージが湧いてこない。 <理系男子>

調査概要

- 調査対象 : 2022年3月に卒業予定の大学3年生 (理系は大学院修士課程1年生含む)
- 回答者数 : 1,305人 (文系男子425人、文系女子403人、理系男子335人、理系女子142人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2021年3月1日~4日
- サンプリング : キャリタス就活 2022 学生モニター